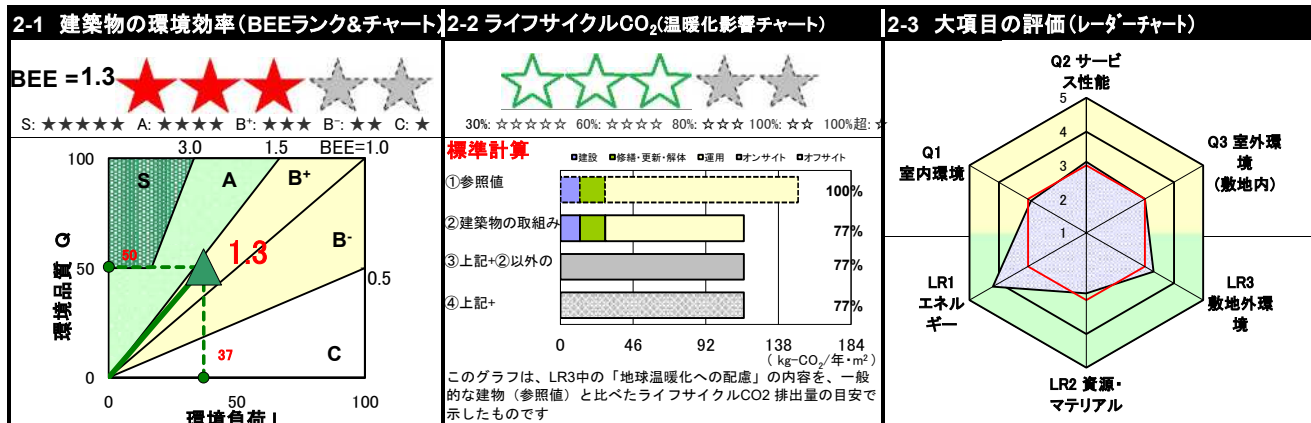


CASBEE®-建築(新築)

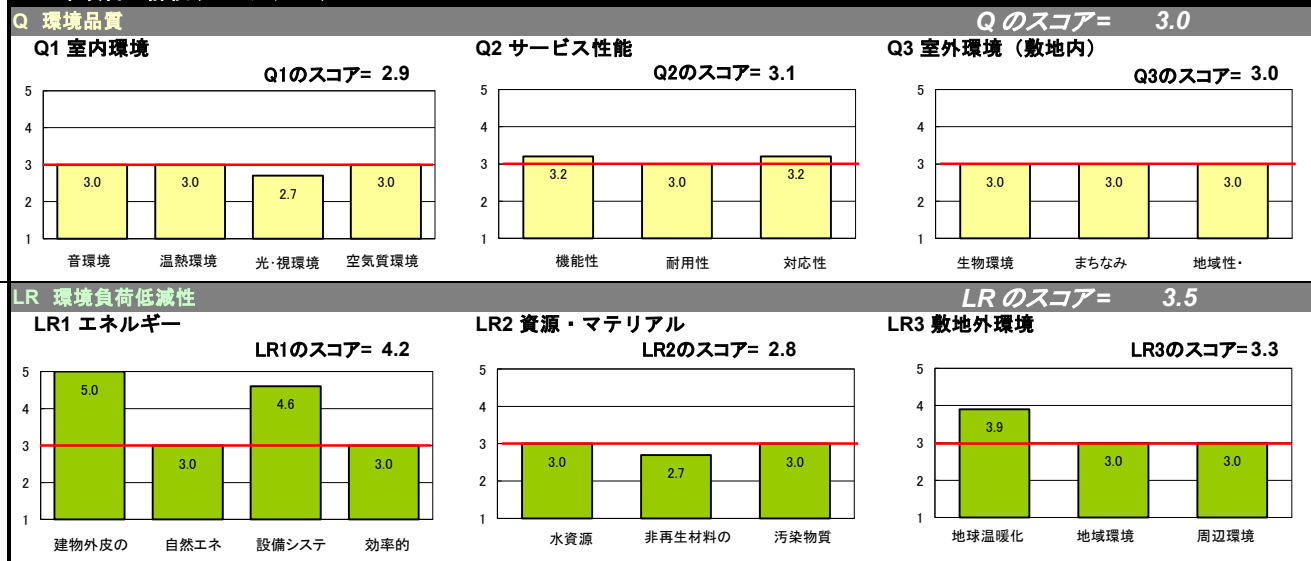
評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)旭ヶ丘病院北館計画	階数	地上4F
建設地	埼玉県日高市大字森戸新田99-1,99-2	構造	RC造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	545 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,600 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年7月 予定	評価の実施日	2026年6月9日
敷地面積	12,757 m ²	作成者	
建築面積	2,286 m ²	確認日	2026年6月9日
延床面積	6,997 m ²	確認者	



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合		その他
敷地内ではできる限り緑化を行い、温熱環境の向上やヒートアイランド対策を行う。		とくになし。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
建築材料は、ほぼF☆☆☆☆を使用し可能な限り化学汚染物質の発生を抑制する。	維持管理のしやすいように、内装、外装仕上げともに配慮している。	既存建物との調和がとれるように、建物の色彩や形状に配慮している。敷地が比較的広いので、緑地についても建物溶け込むように配慮して計画を行っている。また、外構の照明の取り組みも行っている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
建物の断熱性能を高め熱負荷抑制を行う。	完全ノンフロンタイプの断熱材を使用する。	とくになし。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)旭ヶ丘病院北館計画

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート 実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄				全体	
配慮項目		評価点	重み係数	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質						3.0	
Q1 室内環境			0.40		-	2.9	
1 音環境		3.0	0.15	3.0	1.00	3.0	
1.1 室内騒音レベル		-	-	3.0	0.40		
1.2 遮音		3.0	0.67	3.0	0.40		
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30		
2 界壁遮音性能		-	-	3.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20		
1.3 吸音		3.0	0.33	3.0	0.20		
2 温熱環境		3.0	0.35	3.0	1.00	3.0	
2.1 室温制御		3.0	0.71	3.0	0.50		
1 室温		-	-	3.0	0.57		
2 外皮性能		3.0	0.40	3.0	0.43		
3 ゾーン別制御性		3.0	0.60	-	-		
2.2 湿度制御		3.0	0.29	3.0	0.20		
2.3 空調方式		-	-	3.0	0.30		
3 光・視環境		2.6	0.25	3.0	1.00	2.7	
3.1 昼光利用		3.0	0.35	3.0	0.30		
1 昼光率		3.0	0.60	3.0	0.60		
2 方位別開口		-	-	3.0	-		
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.40		
3.2 グレア対策		2.0	0.35	3.0	0.30		
1 昼光制御		2.0	1.00	3.0	1.00		
3.3 照度		-	-	3.0	0.15		
3.4 照明制御		3.0	0.29	3.0	0.25		
4 空気質環境		3.0	0.25	3.0	1.00	3.0	
4.1 発生源対策		3.0	0.63	3.0	0.63		
1 化学汚染物質		3.0	1.00	3.0	1.00		
4.2 換気		3.0	0.38	3.0	0.38		
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能		3.0	-	3.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33		
4.3 運用管理		-	-	-	-		
1 CO ₂ の監視		3.0	-	-	-		
2 喫煙の制御		-	-	-	-		
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.1	
1 機能性		3.0	0.40	3.8	1.00	3.2	
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	5.0	0.60		
1 広さ・収納性	個室10㎡/床かつ多床室8㎡/床以上。	3.0	-	5.0	1.00		
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	-		
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	2.0	0.40		
1 広さ感・景観		3.0	-	3.0	0.50		
2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-		
3 内装計画		3.0	1.00	1.0	0.50		
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30	-	-	3.0	
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性		3.0	0.20	-	-		
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-		
3 電気設備		3.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備		3.0	0.20	-	-		

3 対応性・更新性				3.1	0.30	3.3	1.00	3.2
3.1 空間のゆとり				3.6	0.30	3.6	0.50	
	1	階高のゆとり	階高3.7m以上3.9m未満を確保している。	4.0	0.60	4.0	0.60	
	2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.30	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性				3.0	0.40	-	-	
	1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	3.0
1 生物環境の保全と創出				3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮				3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				3.0	0.30	-	-	3.0
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	4.2
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPI _m =0.71	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			[BEI][BEI _m] = 0.72	4.6	0.50	-	-	4.6
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
	4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価			-	-	-	-	
	4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
	4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	2.8
1 水資源保護				3.0	0.20	-	-	3.0
	1.1 節水			3.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				2.7	0.60	-	-	2.7
	2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体と仕上げ材が容易に分別可能となっている。	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20	-	-	3.0
	3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
	1	消火剤		-	-	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
	3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮			換算スコア=3.6	3.9	0.33	-	-	3.9
2 地域環境への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0
	2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
	2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
	1	騒音		3.0	0.33	-	-	
	2	振動		3.0	0.33	-	-	
	3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
	1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
	3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
	2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	(仮称)旭ヶ丘病院北館計画	BEE	1.3	BEEランク	★★★
------	---------------	-----	-----	--------	-----

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア			
3.9	+	3.0	=	6.9	
重点項目の各スコアの合計点					
がんばろう 6.0未満		良い 6.0以上		非常によい 6.8以上	
				すばらしい 8.0以上	

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	3.9
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.9
<配慮した内容を記述> 高木や緑地帯を多くすることでヒートアイランド対策に配慮している。 CO2排出率が78%			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	3.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	3.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
<配慮した内容を記述> 緑地帯を多くすることでヒートアイランド対策に配慮している。			

 : 入力欄